

平成 28 年社会生活基本調査 結果の概要について

1 社会生活基本調査とは

国民の生活の時間の配分及び自由時間等における主な活動についての調査であり、昭和 51 年以来 5 年ごとに実施されている。

2 調査日及び調査対象

調査日は、平成 28 年 10 月 20 日現在である。全国から無作為に選定した約 8 万 8 千世帯の 10 歳以上の世帯員約 20 万人が対象となり、本県では約 1,546 世帯の 10 歳以上世帯員 3,098 人が調査対象となった。

3 調査結果

調査結果については、「生活行動関係」と「生活時間関係」に分けられ、本県の結果は、以下のとおりとなった。

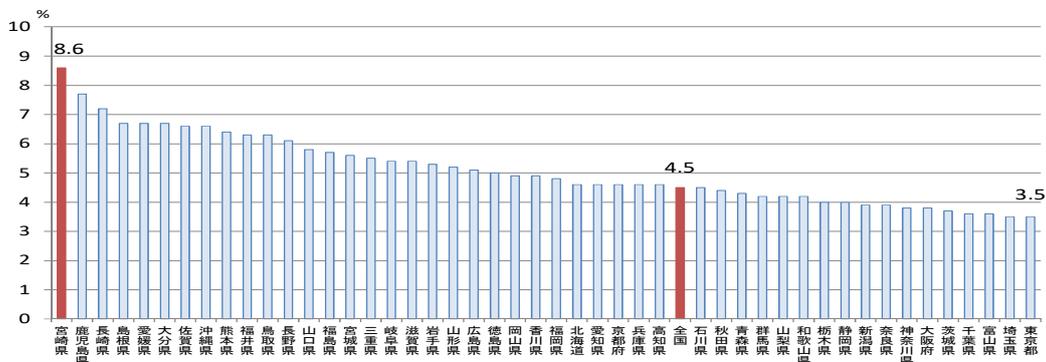
※統計表等は総務省統計局のホームページをご覧ください。

(<http://www.stat.go.jp/data/shakai/2016/index.htm>)

1 生活行動関係

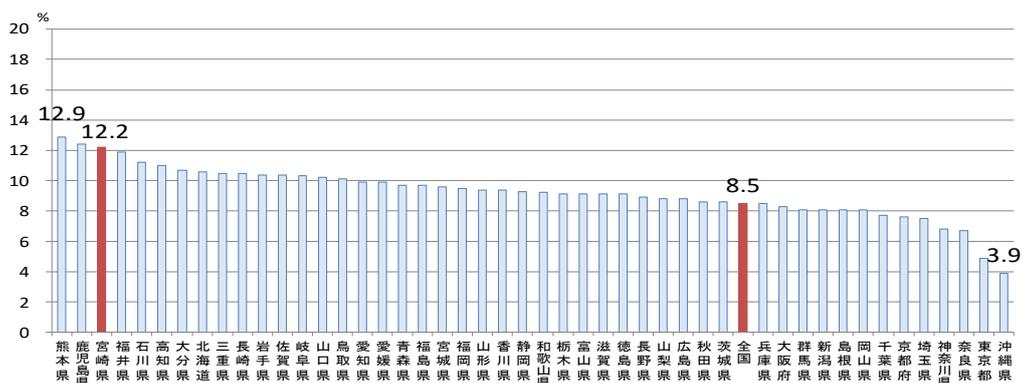
(1) 過去 1 年間における「バレーボール」の行動者率は全国で第 1 位

過去 1 年間における本県のバレーボールの行動者率は、全国平均の 4.5% より 4.1 ポイント高い 8.6% (全国で第 1 位) となっている。



(2) 過去 1 年間における「パチンコ」の行動者率は全国で第 3 位

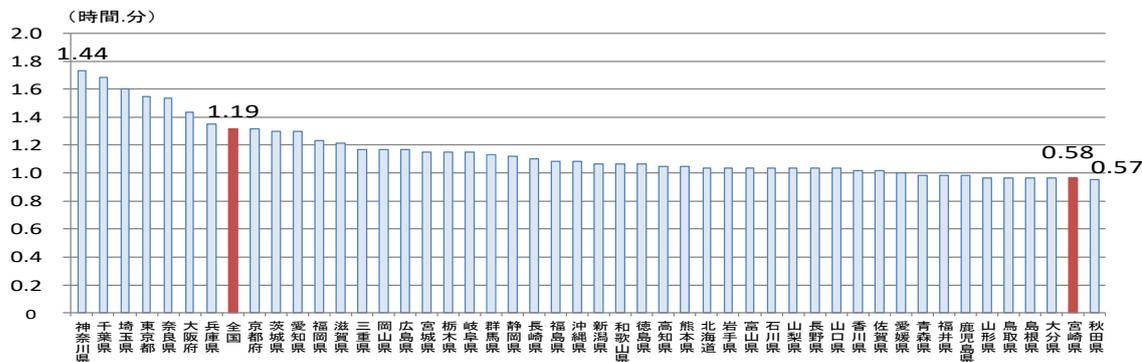
過去 1 年間における本県のパチンコの行動者率は、全国平均の 8.5% より 3.7 ポイント高い 12.2% (全国で第 3 位) となっている。



2 生活時間関係

(1) 通勤・通学時間は全国で2番目に短い。

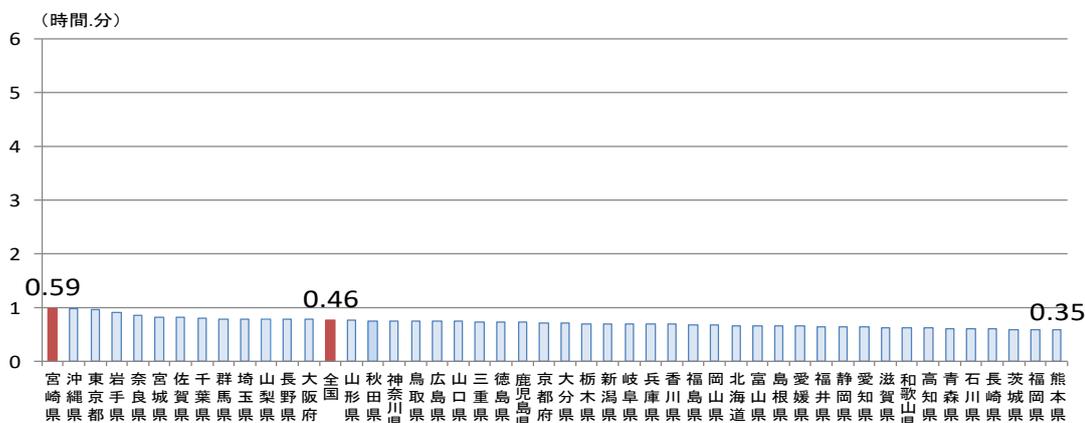
15歳以上で通勤・通学を行った人について、通勤・通学時間（行動者平均、週全体）は全国平均の1時間19分より21分短い58分（山形県外3県と並び全国で第42位）となっている。



※行動者平均…該当する種類の行動をした人のみについての平均

(2) 共働き世帯の夫の家事関連時間は、全国で最も長い。

共働き世帯のうち、子供がいる夫の家事関連時間は、59分（沖縄県と並び全国で第1位）で、全国平均より13分長くなっている。



(3) 有業者の出勤時刻は全国で12番目に早く、帰宅時刻は2番目に早い。

平日における有業者の平均出勤時刻について本県の状況をみると、出勤時刻は、8時16分と全国平均より8分早く（長崎県と並び全国で第12位）、帰宅時刻は、18時16分と全国平均より37分早く（島根県と並び全国で第2位）なっている。